

みずほCustomer Desk Report 2019/06/11 号 (As of 2019/06/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.44	1.1318	122.74	1.2727	0.6996
SYD-NY High	108.71	1.1332	122.99	1.2740	0.7025
SYD-NY Low	108.30	1.1290	122.64	1.2653	0.6957
NY 5:00 PM	108.45	1.1312	122.74	1.2685	0.6960
NY DOW	26,062.68	78.74	日本2年債	-0.2000	0.00bp
NASDAQ	7,823.17	81.07	日本10年債	-0.1200	0.00bp
S&P	2,886.73	13.39	米国2年債	1.9066	5.62bp
日経平均	21,134.42	249.71	米国5年債	1.9164	6.59bp
TOPIX	1,552.94	20.55	米国10年債	2.1484	6.48bp
シカゴ日経先物	21,120	85	独10年債	-0.2200	3.85bp
ロンドンFT	7,375.54	43.60	英10年債	0.8390	2.65bp
DAX	-	-	豪10年債	1.4725	▲0.85bp
ハンセン指数	27,578.64	613.36	USDJPY 1M Vol	6.64	▲0.01%
上海総合	2,852.13	24.33	USDJPY 3M Vol	6.57	▲0.18%
NY金	1,329.30	▲16.80	USDJPY 6M Vol	6.82	▲0.16%
WTI	53.26	▲0.73	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	174.07	▲0.35	EURJPY 3M Vol	6.79	▲0.21%
ドルインデックス	96.76	0.22	EURJPY 6M Vol	7.17	▲0.18%

東京	週末にトランプ大統領がメキシコに対する制裁関税発動を無期限に延長することを明らかにしたことを受け、週明けのドル円はギャップオープンして始まり一時108.68まで上昇した後、小幅に水準を下げ108.44レベルで東京時間オープン。東京時間序盤は日経平均株価が堅調推移となる中でも、ドル円は上値を切り下げ一時108.38まで下落。しかし、すぐに下げ止まり108円台半ばまでの方向感に乏しい推移が続く中、中国5月貿易統計において輸出が前年同月比+1.1%と市場予想(同:▲3.8%)に反して増加した一方、輸入は前年同月比▲8.5%と市場予想(同:▲3.8%)を上回る落ち込み幅となったことが明らかになったが市場の反応は限定的。その後、黒田日銀総裁がインタビューにおいて必要ならさらに大規模な緩和を行うことができると述べたことを受け、円安基調での推移となり108.67まで上昇した後、108.63レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.63レベルでオープン。特段目新しい材料の見られない中、108.52-71での狭いレンジで推移。108.67レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2710レベルでオープン。朝方に英4月鉱工業生産と英4月製造業生産がともに市場予想対比で下振れると上値の重い展開。1.2655まで下落し、1.2656レベルでNYに渡った。(ロンドン-ル7- 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	NY時間のドル円は108.67でオープン。朝方は主要な米経済指標発表の予定がない中、トランプ大統領が「中国の習主席がG20サミットに参加しなければ、対中追加関税は直ちに発動される」、「FRBは私の話を聞かず、間違いを犯した」と述べ、売りで反応し108.46まで下落。しかし、米金利の上昇や米株の堅調推移を受けて、この水準では買い戻され、その後は108.50近辺でもみ合う。午後は米株が上げ幅を縮小する中、ドル売り優勢の展開となる。また、米メディアが「米NY市マンハッタンの高層ビルにヘリコプターが墜落」と報じると売りが加速し、安値108.30を付ける。その後、108.40近辺まで戻すが、上値は重く、結局108.45レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.1298レベルでNYオープン。朝方はトランプ大統領の発言を受け、ドル売りが進み1.1320まで上昇。その後、米金利の上昇に圧迫され、1.1291まで反落するが、海外時間安値付近での買いにサポートされ、1.1310近辺まで戻す。午後は一時1.1324まで上昇する場面もあったが、手掛かり材料が乏しい中、方向感の無い推移が続き、結局1.1312レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償で提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷

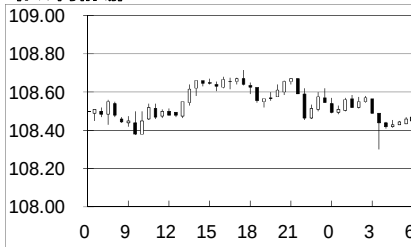
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
6月10日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	1Q 0.6%	0.6%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	1Q 2.2%	2.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	1Q 0.1%	0.2%
	10:32	中 輸出/輸入(前年比)	5月 1.1%/-8.5%	-3.9%/-3.5%
	10:33	中 貿易収支	5月 \$41.65b	\$22.30b
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -2.7%/-1.0%	-1.0%/0.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -3.9%/-0.8%	-1.4%/2.0%

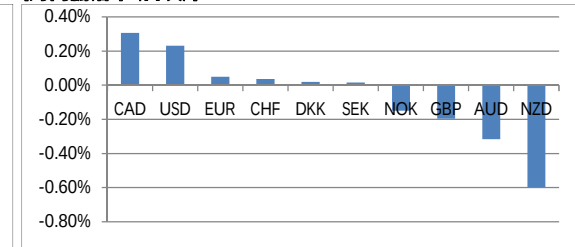
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
6月11日	10:30	豪 NAB企業景況感	5月 -	3
	10:30	豪 NAB企業信頼感	5月 -	0
	17:30	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	4月 3.2%	3.3%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/2.0%	0.2%/2.2%

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-109.20	1.1250-1.1360	122.00-123.50

[マーケットインプレッション]

10日のドル円は狭いレンジで揉み合う展開となった。米国による対メキシコ関税発動が無期限に延長されるとの週末の報道を受け、週明けのドル円は108.44レベルでギャップアップしてオープン。その後トランプ米大統領の「中国の習主席がG20サミットに参加しなければ、対中追加関税は直ちに発動される」との発言や、米メディアが「米高層ビルにヘリコプターが墜落」とのヘッドラインを受け、一時ドル売りが進むが、米金利の上昇や米株の堅調推移もあり、下げ幅は限定的だった。

本日のドル円は動向の薄い展開を予想。米株と米長期金利の上昇に伴うドル買い円売りでドル円も堅調に推移しているが、米中通商問題への懸念や米金利引き下げ期待などから上値は限られるだろう。108円台で揉み合う展開が続くものと思われる。